

私が農業に対して面白いと思う気持ち、いつしか夢を抱くようになったのは、父と祖父の影響を受けたからです。見よう見まねで始めた作物の栽培も今では、自らの畑を持ち、土を耕し、収穫もできるようになりました。

ある時、名取岩沼農業協同組合主催の2010ふるさと秋まつりの広告を見た私は、早速、農産物品評会に自分が作った農産物を出展することに決めました。自分が育てている農作物の中から「今年は柚子で挑戦!」。そう決めた私は栽培に更に力が入りました。

「愛情がなければ美味しい野菜や果物は育たないんだぞ。」祖父から教わったこの言葉を常に心に、精一杯柚子の栽培管理を行いました。やがて収穫の時期を迎え、鮮やかな黄色い色をした柚子を手にした時は自分が育ててきたのだという喜びと達成感、満足感でいっぱいでした。そんな柚子はとても爽やかな香りを放ち、一度口にすれば酸味の中にも甘さが残る美味しい柚子で、これまでの苦勞を一掃してくれました。

品評会当日、私の柚子は一般の部で銀賞を受賞することができました。真っ先に祖父に報告しました。祖父は満面の笑みを浮かべ「良かったなあ。」と褒めてくれました。その時、やはり「農業って面白い。もっともっと農業のことを知りたい!」心からそう思いました。

私は将来、無農薬栽培に更に力を入れたいと考えています。環境との共生を考え、微生物が繁殖する良い土を作り、農薬を使わない健康な野菜を育てたいと考えています。

そして銀賞をいただいた柚子を始め、自分の野菜や米の産直販売などを通して、より多くの地域の方々に食べてもらいたいです。いえ、全国どこへ出しても恥ずかしくないような自慢の野菜に育てあげたいと思います。私が目指す「顔の見える農業」「美味しい」や「ありがとう」の笑顔を生み、農業の輪、地域の輪をさらに広げることができるきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。

大震災発生から3か月…。地域社会が受けた傷、人々の心に刻まれた痛みが容易に癒えることはありません。それでも私たちは立ち止まっているわけにはいきません。一步、また一步。私たちは再生につながる長い道のりを共に手を携えて踏み出していかなければならないのです。

私の農業への気持ち、農業が好きだと言う気持ちが、今の自分の大きな原動力です。私は農業が大好きです!

難波様

もっと早くに送ろうとしたのですが、ミッチー先生にお手紙を書く文章が思い浮かばず、今日になってしまいました。今回、帰って来た時の拓也の表情は今まで見たのとは違い、とても落ちついていました。それは出国まで変わる事なく、新しい目標を見つけたのだと感じました。これからもどうぞ拓也を宜しくお願い致します。 飯島良子 (拓也 母)

ミッチー先生

先ほどは電話でいろいろアドバイスありがとうございました。亮とは約1時間ほどスカイプで話しました。日本で言うハロワークのようなサイトや大手の会社の募集サイトに自分がやりたいと思う職種を登録するなど、自分なりにはやっているようですが、まだまだ思うように捗っていないというのが現状のようです。NZでの就職状況などは亮自身がいちばん分かっていることだからとにかく自分の力でやっていくしかないよときっぱりと言い渡しましたが、心配はこれからも続くことになると覚悟をしています。

例えば、弾さんやEVAのえり子先生、ハミルトンでホームステイしていた家のホスト(建設業関連と聞いています)など、顔の見えるネットワークを広げる努力が必要なのではないかという話などもしました。

言われることは自分でも頭では分かっているはずだと思うので、あとは本人がやるのを見守ることにしたいと思います。

今後いろいろアドバイスよろしく願いいたします。どうか体調管理にはくれぐれもご留意ください。

今後ともよろしくお願い致します。酒井正子

酒井さんのご主人作による連風



東日本大震災若者応援メッセージ「職業教育の日」制定記念 第7回全国高校生・高等専修学校生

『私のしごと』作文コンクール

あなたの夢は、何ですか。夢を持っていますか。

私の夢は、母方の祖父がいる岩手県九戸村の特産品「甘茶」を全国に広め、九戸村を元気にすることです。

甘茶とはニホンガクアジサイの変種で、普通の緑茶に砂糖を入れたものではなく、葉を乾燥させて急須に入れてお湯を注ぐと、甘くすっきりとした味わいのお茶になるのです。九戸村のJAの方に聞いたところ、甘茶の甘みは砂糖の約千倍あるのだそうです。しかも、カロリーゼロ、ノンカフェイン、老化防止、抗アレルギー作用、防腐効果など、様々な特性や効能があります。

この甘茶を知るきっかけになったのも、私が農業高校に入学しようと思ったのも、九戸村で農業を営んでいるおじいちゃんやおばあちゃんのお陰だと思っています。

私は岩手県で生まれ、浜松に移り住んだ今も、毎年夏休みと冬休みには九戸村に帰省して、おじいちゃんの農作業を手伝っています。子供だから大した仕事はできませんが、夏はピーマンとトモモロコシの収穫と選別。冬は、ストーブの前で大豆の虫食いを除けたりしています。そういうときには、おじいちゃんたちとたくさん話をしています。学校の話や、農業に関するアドバイスも貰ったりしています。小さい頃から、農作業をさせてくれた祖父母にはとても感謝しています。だから私は、そういう体験を農業に繋げていきたいと思い、農業高校に進学しようと決めました。

農業高校に入学したあと、地元の磐田の農産品を知る機会があり、九戸村はどうなのだろうと思って調べてみることにしました。その時に「九戸かっぱれ」というお菓子里に甘茶が使われていると知り、おばあちゃんに協力してもらってJAに取材に行きました。その後も、祖父母は私と九戸村の懸け橋となってくれ、私が将来なにをしたいかを明確にすることができました。

浜松で一緒に住んでいる祖父母とも日々の会話を通じて、自分を見つめることができ、考え方なども良い方に変わってきたと思っています。祖父母と会話することは、自分が生まれてきたルーツを知ることででもあります。そこを見つめれば、将来の自分の夢を見つけることにも繋がってくると思います。だから、私は積極的に年長者と関わって いきたいと思っています。

あなたは夢を持っていますか。自分が何をしたいか、想像したことはありますか。



Kingdom of Cambodia

カンボジアから ただいま、無事に帰ってきました

23日夜の10時半に羽田に無事に付き、家には12時になりましたが、戻ることができました。日本は寒くて、震えてしまいましたが、だんだん慣れていくと思います。しばらくはのんびりと過ごしていくと思いますが、2年間のカンボジアでの生活で得たことを、生かせることができればと思います。電話は以前使っていたのと同じですので、また声をかけていただければ幸いです。

面矢忠彦・歌手

難波様

こんにちは!

クリスマススイブに、素敵なサプライズありがとうございました(*^_^*)

きょうへいが目をキラキラさせて開けておりました!

エリックカールの「はらべこあおむし」は、今年の保育園の学芸会で

劇をしました。(きょうへいはちょうちょ役でした!)

おうちには「はらべこあおむし」をもってなかったのですが、

「僕のあおむしだー!」と喜んで読んでいました!

メッセージカードもひらがなで書いてくださって、お年玉もお気遣いありがとうございました。ぜひ、来年はお会いできるようながんばりたいです!

小林由有紀・匡蓮

素敵な絵本の件



受賞

おめでとう!!

全国高等学校校長協会
会長賞



石田千尋

Dear Michi

Mid term report

England 便り



現在のところ、私たちを含めTシャツを購入した人々は92人です。私たちと義父母のメソヂストの教会はロンドン及び英国の有名な教会に比べると規模が小さく、常に利用する人々の数もそれほど多くありません。

Tシャツは、私たちの教会で35枚、義父母の教会で15枚売れました。残りは、親戚と友人、私たちの職場仲間です。イギリスは、チャリティー活動が盛んな国です。世界には、自然破壊でたくさんの人々が亡くなり、それがニュースに報道されます。東北大震災から7ヶ月過ぎ、関連するニュースはBBCで見かけられなくなりました。この活動に協力してくれる人々の多くは、日本に縁がある人々です。ジャクソン先生やICSのヘレンも教え子に日本人がたくさんいるという理由で協力してくれているのだと思います。2人ともTシャツ2枚購入していただきました。ご存知のようにジャクソン先生は典型的なイギリスの紳士なので、Tシャツは着ませんが、息子二人のためにTシャツ2枚買ってくれました。義父のジョーンも普段はTシャツは着ませんが、私たちのために買ってくれ、11月5日には、写真撮影も協力していただきました。事実、イギリスの気候の影響か個人のスタイルの理由で、Tシャツを買わずに募金の協力してくれる人も何人かいました。マークの仕事仲間であるスーザン・フレードさんは、ミッチーのプロジェクトに大変興味を持っていらしており、£100を寄付していただきました。彼女も、商用と観光で何回か日本に訪れています。

千尋&マーク



「在るために持つ」 … NPO 場の研究所・所長清水博

ご無沙汰しております。いただいたメールの内容は、食パンや牛乳が買えなかったという私なりの体験からよく分かります。計画停電を受け入れなければならないということもあって、ここで日本人の価値観がかなり変わるかも知れません。またそうあって欲しいと思います。

東日本大震災は、人間の力をはるかに超える天災と、そして原発がつくり出した人災が生み出した痛ましい出来事として日本の歴史に長く残る大災害であると思います。この度の地震と津波の災害は天災として、後で考えるとして、原発の事故は設計思想の誤りによっておきたものであると思います。それはどう言う誤りかと言いますと、人間が地球の上で製作するものが、もしも人間のコントロールを越えて環境に大きな影響を与える可能性があるものであるのなら、それは「在るために持つ」施設として設計されていなければならないのに、それが人間の力で十分コントロールできる規模の「持つために在る」施設として設計したことによる誤りであると思うのです。近代文明の設計思想は人間の知性による自然支配の設計思想ですから、必然的に「持つために在る」という設計思想になってしまうのです。

これほど大きな災害の後では、人々が求めるものは「在るために持つ」施設であると思います。そしてそれがどんな思想によって設計されたものであるか、そのことが必ず問題になると思います。そしてその新しい設計思想のなかから、人間が自然に対してどのような姿勢で生きるべきかが見えてきます。そしてそのことが天災に対する人間の心のあり方を示してくれると思います。近代文明の設計思想が人間の知性による「持つために在る」という設計思想であるのに対して、「在るために持つ」という設計思想は人間の知性を越えるものでなければならないのです。具体的には、人間の与贈からはじまる「生命の与贈循環」の設計思想です。人間が環境に対して生命を与贈した範囲で施設を構想(設計)することが許されるとするものです。

そこで私が日本の新しい「イーハトーブ」を災害地につくるために、新しい「在るために持つ」設計思想を知恵を合わせて具体化していく(従って近代文明を乗り越えていく)ことを場の研究所から社会に呼びかけていくことができればと思っています。